

目次

会社データ

社長挨拶	002
ヤクルトの原点 代田イズム	003
経営体制	004
経営理念	005
群馬ヤクルト 創業70年	006
群馬ヤクルトの歴史	007

ビジョン2035へ向けた活動

群馬ヤクルトのビジョン	012
ヤクルトグループ 優秀販売会社表彰	014
「共助社会の担い手」として	015
地域連携の推進	016
健康経営の推進	018
健康教室の開催	020
一般社団法人 群馬県ポールウォーキング協会	022
子ども食堂～ヤクルト GENKI★食堂～	024
スポーツ社員の紹介	025
人材育成	026
全社横断プロジェクト	028

部門紹介

宅配サービス部／直販サービス部	030
未来価値創造部／人材開発部／総務部／DX推進部／広報部	031
会社概要・サービスセンター	032

報告 範囲

対象期間／2025年度
(2025年4月1日～2026年3月31日)
対象範囲／群馬ヤクルト販売株式会社

社長挨拶

共助社会の 担い手を目指して

はじめに、日頃より当社をご支持いただいているお客さま、お取引先さま、そして地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

昨年、ヤクルトグループは創業90周年、群馬ヤクルトは創業70周年という大きな節目を迎えることができました。長きにわたり支えてくださったすべての方に、改めて深く御礼を申し上げます。

社会環境は、物価の上昇や人手不足の深刻化、少子高齢化の進行など、大きな変革期にあります。こうした時代だからこそ、健康寿命の延伸や予防の大切さは、より一層求められております。私たちは「ヘルスケアカンパニー」としての使命を胸に、地域の皆さまと真摯に向き合い、健康価値の普及に努めていく所存です。

2021年に策定した「群馬ヤクルト Vision2035《共助社会の担い手になる》～ヤクルトの普及を通じて社会的課題を解決する～」は、2035年の到達点に向けた私たちの道しるべです。現在進行中の第二次中期経営計画においても、その実現に向けた具体的な取り組みを着実に進めております。

一方で、働き方改革の推進や週休3日制の定着、専門性を軸とした人事制度の深化など、従事者一人ひとりが自律的に成長できる環境づくりも継続しております。人が育ち、人が輝く企業であることこそが、地域への価値提供につながる確信してやみません。

また、地域との絆をより強固にする取り組みとして、一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会の活動支援をはじめ、運動習慣の普及にも注力しております。栄養と運動の両面から健康を支えることで、人と人とのつながりを広げ、支

え合う共助社会の実現に貢献してまいります。

創業90周年を越えた今、私たちはその歴史を誇りとしながらも、決して立ち止まることなく、100周年、そしてその先の未来を見据えて歩みを止めることはありません。

「利他の心」「お客さま本位」「価値普及」
「生産性の向上」「革新の精神」

これらの大切にしている言葉を胸に、地域の皆さまとのつながりをより深め、健康を通じて社会に貢献いたします。

これからも、一人でも多くの方に「健康と美」をお届けするため、笑顔・信頼・感謝を忘れず、挑戦を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



2026年4月1日 群馬ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長 **塩谷 輝行**

ヤクルトの原点 代田イズム

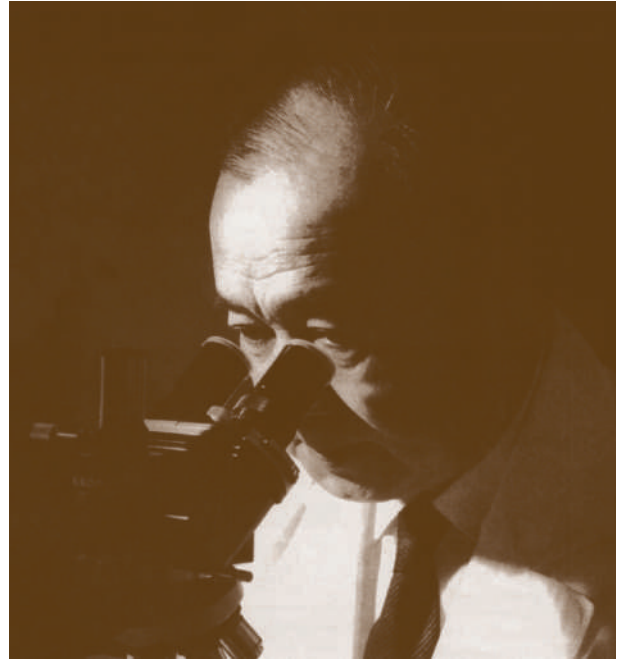
健康への情熱と発想、 世界の人々の健康を守りたい

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が京都帝国大学(現在の京都大学)で医学の道を歩みだしたのは1921年。その当時日本はまだ豊かとはいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。

そんな現実に関心をもち、病気に罹ってから治療するのではなく、病にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。

そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成功します。

それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれる学術名 ラクトバチルス カゼイ シロタ株という乳酸菌です。



代田 稔(1899 ~1982)

医学博士
(株)ヤクルト本社
元代表取締役会長兼
中央研究所所長

生涯を腸内菌の研究と予防医学の普及に捧げ、昭和57年、82歳で生涯を閉じる。

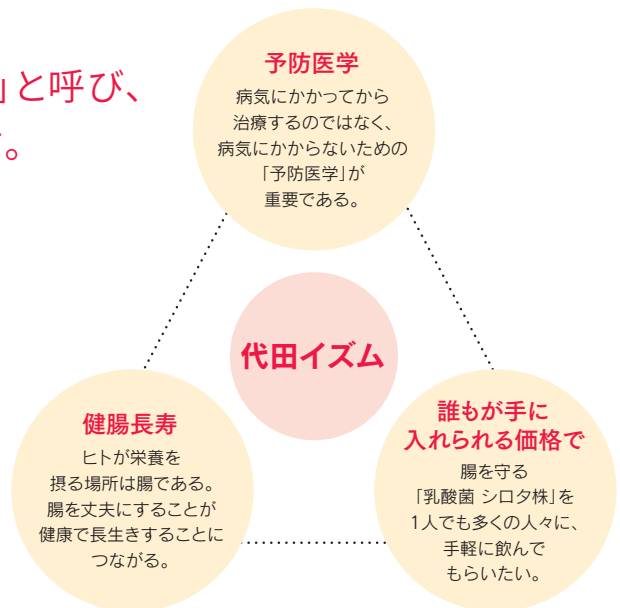
ヤクルトでは、 創始者である代田の考えを「代田イズム」と呼び、 現在もすべての事業の原点としています。

代田は、生きて腸内に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志と共に安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化します。

そして1935年、乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。

世界の人々の健康を守りたい。

代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。



2026スローガン

一心協力

～お客さまと従事者 そして地域のために～

経営体制

取締役



代表取締役会長
本田博己



代表取締役社長
塩谷輝行



常務取締役
廣兼昌隆



常務取締役
吉原篤



取締役
青木秀樹



取締役
狩野麻紀



非常勤取締役
(株)ヤクルト本社
東日本支店長執行役員
中野健



非常勤取締役
星野睦子



監査役
岩田徳之



顧問
中島祥博



顧問
関口明美

執行役員



代表取締役会長
執行役員
本田博己



代表取締役社長
執行役員
塩谷輝行



常務取締役 執行役員
マーケティング本部
本部長
廣兼昌隆



常務取締役 執行役員
経営戦略本部
本部長
吉原篤



取締役 執行役員
マーケティング本部
副本部長
青木秀樹



取締役 執行役員
経営戦略本部 副本部長
総務部 部門長
狩野麻紀



執行役員 部長
DX推進部 部門長
大塚智義



執行役員 部長
未来価値創造部 部門長
町田篤



執行役員 部長
広報部 部門長
大山賢司



執行役員 部長
人材開発部 部門長
竹垣咲紀



執行役員 部長
宅配サービス部 部門長
柳川育廣



執行役員 部長
直販サービス部 部門長
金井良和

経営理念

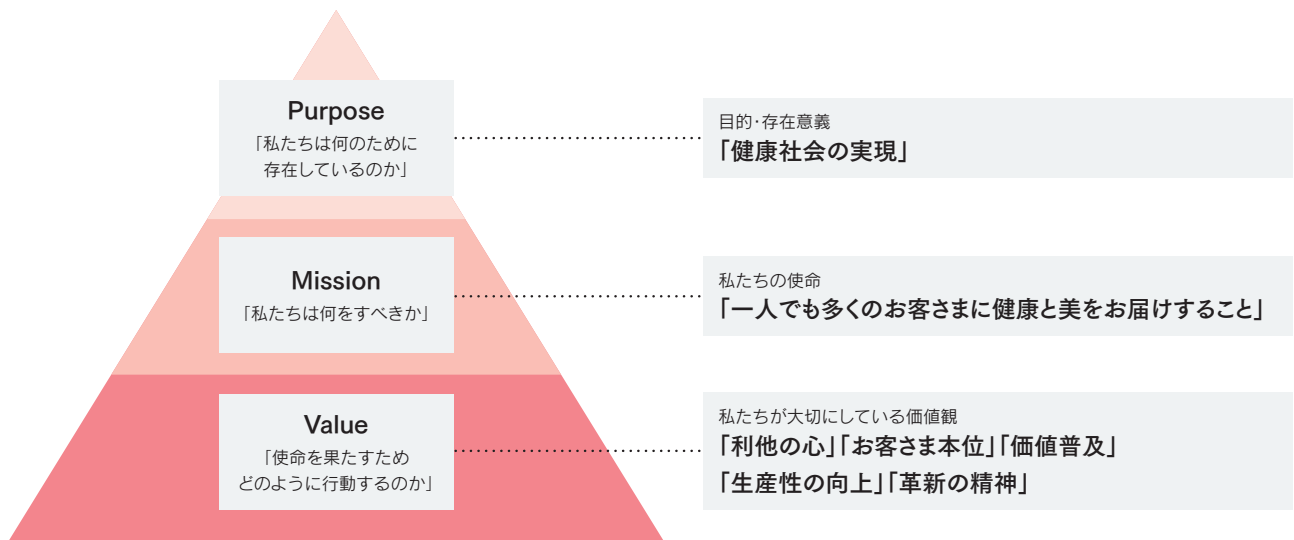
■ 私たちの使命

一人でも多くのお客さまに
「健康と美」をお届けすること

■ 2025年度スローガン

利他の心と革新の精神
～言行はこれに照らしてから～

群馬ヤクルトのビジョン2035
「共助社会の担い手になる」～乳製品人口比20%を目指して～



全社戦略 ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスモデル構築

■ 私たちが大切にしている価値観

1

利他の心

真心を込めたサービスが
お客さまを幸せ(笑顔)に
し、私たちも幸せ(笑顔)
にします。

2

お客さま本位

全てはお客さま(そのご
家族、地域の人々も含め
て)のために。お客さまの
身になって考え、行動する
ことで信頼関係を築きま
す。

3

価値普及

お客さまが求める価値を
知り、私たちが提供できる
価値(商品・人・会社)を
一人でも多くのお客さま
に必要とされる価値に高
めます。

4

生産性の向上

学び続けることで一人ひ
とりが成長し、会社全体
の成長に繋がります。

5

革新の精神

ビジョン実現に向け、必
要なプロセスを革新し続
け、社会的課題を解決し
ます。

群馬ヤクルト 創業70年

この一歩から始まりました。

沼田ヤクルト営業所



代表取締役社長／竹田久三

高崎ヤクルト営業所



代表取締役社長／中村初男

前橋ヤクルト営業所



代表取締役社長／星野武之助

木崎ヤクルト営業所



代表取締役社長／木村淳一

群馬ヤクルト販売歴代社長



初代 竹田久三
昭和46年5月20日就任



二代 中村 初男
昭和47年11月15日就任



三代 本田 博己
平成11年4月26日就任



四代 星野 哲也
平成15年4月28日就任



五代 塩谷輝行
平成27年4月28日就任

群馬ヤクルトの歴史

- 1955 (昭和30年) 前橋(前橋市清王寺町)・高崎・沼田・太田の、県内4社で創業「ヤクルト」の販売開始
- 1958 (昭和33年) 群馬県ヤクルト協同組合を設立し、瓶詰め工場生産開始
- 1966 (昭和41年) 婦人販売店制度導入
- 1967 (昭和42年) プラスチック容器導入
- 1971 (昭和46年) 合併により5月18日群馬ヤクルト販売株式会社(前橋市高井町)設立
ヤクルト婦人販売店460人
化粧品事業開始
- 1975 (昭和50年) 群馬ヤクルト「友の会」旅行関連事業開始
- 1979 (昭和54年) 直販(店舗、給食、自動販売機)事業開始
- 1983 (昭和58年) ニューセンターシステム(NCS)営業展開開始
「問屋町サービスセンター」第1号店開設
初の託児所施設開設
旅行業登録
- 1986 (昭和61年) ヤクルトネットワークシステム導入
- 1989 (平成元年) 対前年比売上伸長率全国第1位達成
CYS(コスメティックヤクルトスタッフ)導入開始
三輪バイク導入
営業直販部門で女性嘱託社員の積極的登用開始
- 1990 (平成2年) 物流センターを新設
- 1992 (平成4年) 全国ヤクルトグループ大会において、優秀販売会社として成果を発表
- 1995 (平成7年) 化粧品ホームエステサービス開始
- 1996 (平成8年) お客さま向け情報誌「すてき!生活通信」創刊
- 1999 (平成11年) 宅配部門に、電気自動車導入開始(190台導入)
- 2000 (平成12年) 顧客管理システム(携帯端末)導入
2010年ビジョン策定
群馬県ヤクルト協同組合製造廃止
- 2001 (平成13年) コールセンター開設
群馬県ヤクルト協同組合から群馬県プロバイオティクス普及組合に名称変更
- 2002 (平成14年) ヤクルトグループ全国優秀販売会社賞受賞
お客さま向け工場見学開始
- 2003 (平成15年) EYS(エクセレントヤクルトスタッフ)制度開始
CS推進室設置
お客さま向け健康フェア開始

歴代社長

1955(昭和30年)-

前橋ヤクルト 星野 武之助

高崎ヤクルト 中村 初男

沼田ヤクルト 竹田 久三

木崎ヤクルト 木村 淳一

群馬ヤクルトの歴史

2004(平成16年)	ヤクルトグループ全国最優秀販売会社特別賞受賞 社会貢献委員会設置 ヤクルトご意見番設置 ISO9001認証取得
2005(平成17年)	群馬ヤクルト創業50周年 ISO14001認証取得 Pマーク認証取得 星野哲也(株)ヤクルト本社取締役役に就任 群馬県警察本部と「安全・安心パトロール協定」の締結
2006(平成18年)	ヤクルト健康プラザ(前橋北・高崎西)新設 ホームページ開設 ヤクルトスタッフの社員登用を開始
2007(平成19年)	「健康宣言」提唱”私たちはお客さまの健康に役立ちます”
2008(平成20年)	ヤクルトグループ「総合最優秀販売会社賞」受賞 前橋市が乳酸菌飲料年間購入金額全国1位になる(総務省家計調査)
2009(平成21年)	星野哲也(株)ヤクルト本社東日本支店支店長就任 ISO22000認証取得 高崎問屋町駅前サービスセンター移転・新築 高崎南サービスセンター移転・新築
2010(平成22年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門・化粧品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 全サービスセンターに入金管理機設置 渋川北サービスセンター新設
2011(平成23年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(2期連続) (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞 電気自動車(商用車)3台導入
2012(平成24年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞 宅配部門に新型電気自動車100台切り替え・導入 群馬ヤクルト本店改築・増築 太田宝泉サービスセンター新設 ロンドンオリンピック 男子グレコローマン 松本隆太郎社員 銅メダル獲得
2013(平成25年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他4部門受賞 群馬県地域見守り支援事業協定の締結 ビジョン2020を策定 駒形サービスセンター移転・新築 みなかみサービスセンター移転・新築 藤岡南サービスセンター新設
2014(平成26年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(3期連続) (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 ヤクルトスタッフの社員登用8期目完了 東日本大震災 復興応援「がんばろう東北」を企画

1971(昭和46年)-

4つのヤクルトが合併
「群馬ヤクルト販売株式会社」設立

1971-

竹田 久三

1972-

中村 初男

群馬県庁旅行コーナー開設
下仁田サービスセンター移転
前橋中央サービスセンター改築
平成大橋サービスセンター改築
長野原サービスセンター新設

2015(平成27年)

群馬ヤクルト創業60周年
(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞
プロジェクトチーム発足
(ビジョンプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリング・DBプロジェクト、CSネットワーク推進連絡会議)
ビジョン2020+策定
社内広報誌「Voice」発刊、ふれあいエピソード集「スマイルレポート」発刊
「Voice会議」を設置
共育プログラム『★STAR'S活動624』スタート
ヤクルトスタッフ週休3日制テスト導入

2016(平成28年)

(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞
群馬県と「健康づくり推進連携協定」を締結
第2期プロジェクト始動(価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリングDBプロジェクト)
「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」の価格改定
2016年版宅配・化粧品サービス成功事例集発刊
笠懸サービスセンター移転・新築

2017(平成29年)

ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(4期連続)
(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞
前橋市と「健康づくり推進連携協定」を締結
高崎市と「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」を締結
玉村町と「地域社会づくり連携に関する協定」を締結
藤岡市と「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」を締結
第3期プロジェクト始動(価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト)
サークル活動始動(管理栄養士サークル)
2017年版宅配・化粧品サービス部成功事例集発刊
ヤクルトスタッフへ軽自動車導入開始(3か年計画)
富士見サービスセンター新設
藤岡サービスセンター移転・新築
大胡サービスセンター移転・新築

2018(平成30年)

(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞受賞
渋川市と「連携協力に関する協定」を締結
安中市と「連携協力に関する協定」を締結
富岡市と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結
沼田市と「連携協力に関する協定」を締結
第4期プロジェクト始動(エリア価値普及プロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、新世代プロジェクト)
サークル活動第2期(管理栄養士サークル)
健康優良企業に認定
「ヤクルト届けてネットサービス」の開始
ヤクルト健康プラザ(前橋北・高崎西)廃止
第4世代型携帯端末(スマートフォン)の導入
前橋北サービスセンターの移転・新築
高崎西サービスセンターの移転・新築

1999-

本田 博己

2003-

星野 哲也

群馬ヤクルトの歴史

- 2019(令和元年)**
- (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門) 乳製品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞、化粧品部門優秀賞
 - (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門) 乳製品実売人口比優秀賞、売上指数優秀賞
 - 甘楽町と「甘楽町地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 榛東村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 第5期プロジェクト始動(新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト)
 - サークル活動第3期(管理栄養士サークル)
 - 健康経営優良法人2020を取得
 - ヤクルト400発売記念/代田 稔博士生誕120周年企画実施
 - 電子決済サービスの導入(QRコード決済)
 - 松井田サービスセンターの移転・新築
- 2020(令和2年)**
- ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(5期連続)
 - ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(乳製品部門、化粧品売上高インデックス値部門)
 - (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門) 乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
 - (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門) 乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞、量販店マーケット優秀賞
 - 吉岡町と「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 嬭恋村と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結
 - みなかみ町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 中之条町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 前橋市と「地域社会づくり包括協定」を締結
 - 東吾妻町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 高崎市教育委員会より社会功労者表彰
 - 群馬県老人クラブ連合会と「地域づくり連携協定」を締結
 - 第6期プロジェクト(新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト)
 - 第5期サークル活動(管理栄養士サークル)
 - 健康経営優良法人2021中小企業部門(プライト500)認定
 - 内部統制によるコーポレートガバナンスの認定
 - 新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定及び対応
- 2021(令和3年)**
- (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門) 乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
 - (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門) 乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞
 - 高崎市と「包括連携に関する協定」を締結
 - 群馬県社会福祉協議会と「包括連携に関する協定」を締結
 - 桐生警察署と「桐生警察署管内防犯ネットワークに関する覚書」を交わす
 - 第7期プロジェクト(新ビジネスプロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト、SNSつながるプロジェクト)
 - 健康経営優良法人2022中小企業部門(プライト500)認定
 - (株)ヤクルト本社 代表取締役 成田社長来社
 - 経営戦略本部新設(未来価値創造部、広報部、人材開発部)
 - 化粧品サービス部を宅配サービス部へ編入
 - 群馬ヤクルトビジョン2035策定
- 2022(令和4年)**
- (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門) 乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
 - (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門) 乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞
 - 昭和村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 南牧村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
 - 片品村と「地域づくりに関する包括連携協定」を締結
 - みどり市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの包括連携協定」を締結
 - 高山村と「地域づくりに関する包括連携協定」を締結
 - 長野原町と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結

2015-

塩谷 輝行

第8期プロジェクト(プラットフォーム型ビジネスプロジェクト(ポールウォーク事業検証・スクール連携事業検証)、エンゲージメント向上プロジェクト)DX推進委員会発足
 SNSマーケティング委員会発足
 健康経営優良法人2023中小企業部門(ブライツ500)認定
 「私たちが大切にしている価値観(5つの価値観)」改訂
 従事者教育研修プログラム:マイスター制度策定・導入
 執行役員制度導入
 DX推進部創設
 第28回上毛新聞広告賞 優秀賞 受賞「あなたの町に健康を届けるヤクルトレディ」

2023(令和5年)

ヤクルトグループ総合最優秀販売会社受賞(6期連続)
 ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(乳製品人口比部門、化粧品インデックス値部門)
 (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配重点商品優秀賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞、給食チャネル優秀賞
 群馬医療福祉大学と「産学連携協力に関する協定」を締結
 神流町と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 川場村と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 桐生市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 第9期プロジェクト(健康経営プロジェクト、子ども食堂プロジェクト、スクール連携プロジェクトSeason2)
 女性活躍支援～さくらMINTプロジェクト～発足
 健康経営優良法人2024中小企業部門(ブライツ500)認定
 日本生産性本部(経営品質協議会)「経営デザインランクアップ認証」取得
 高崎北(旧群馬町)サービスセンター移転・新築
 渋川サービスセンター移転・新築

2024(令和6年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配乳製品優秀賞、ヤクルト400W努力賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)優秀販売会社賞、実数指数優秀賞
 一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会設立
 前橋市社会福祉協議会と「地域社会づくりに関する連携協定」締結
 太田市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトにおける地域社会づくりに関する包括連携協定」締結
 第10期プロジェクト(DXプラットフォームプロジェクト、子ども食堂プロジェクト、健康経営さくらMINTプロジェクト、スクール連携プロジェクトSeason3)
 健康経営優良法人2025中小規模法人部門(ブライツ500)認定
 安中サービスセンター移転・新築

2025(令和7年)

ヤクルトグループ創業90周年
 群馬ヤクルト創業70周年
 ヤクルトグループ総合最優秀販売会社受賞(7期連続)
 ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(化粧品売上高指数部門)
 (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配乳製品優秀賞、ヤクルト400W努力賞、Yakult1000努力賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)Y1000類本数達成賞
 伊勢崎市と「埼玉北部ヤクルト及び群馬ヤクルトとの地域社会づくりに関する包括連携協定」締結
 しぶかわジェンダー平等推進表彰受賞(法人・特別賞)
 第11期プロジェクト(D-FORCEプロジェクト、チャレンジ!エリア20プロジェクト)
 健康経営優良法人2026中小規模法人部門(ブライツ500)認定
 上並榎サービスセンター移転・改築

群馬ヤクルトのビジョン

ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスモデル構築

ヤクルトの自律性・主体性・独自性を保った「ヤクルト・プラットフォーム」。地域に生きる人々の生活の質の向上、地域課題の解決に寄与できる事業、サービスの場を、地域社会の諸団体との「つながり」を通じて提供します。

プラットフォーム型ビジネスモデル

ヤクルトは、地域社会における共助の担い手として、地域の、企業、自治体と多層的かつ多面的なつながりを築きながら、社会課題の解決に取り組んでいます。これらのつながりを基盤として、持続可能なネットワークの形成やコミュニティの創出、新たなサービスの開発を推進することで、人々の健康維持と生活の質の向上を支援します。私たちは、地域社会と共に成長し、誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくりに貢献するプラットフォームの確立を目指してまいります。



キーワードは

助け合える関係性

人とのつながり

世代間交流

ビジョン2035
「共助社会の担い手になる」
乳製品人口比20%を目指して

2021年度より中期経営計画を策定

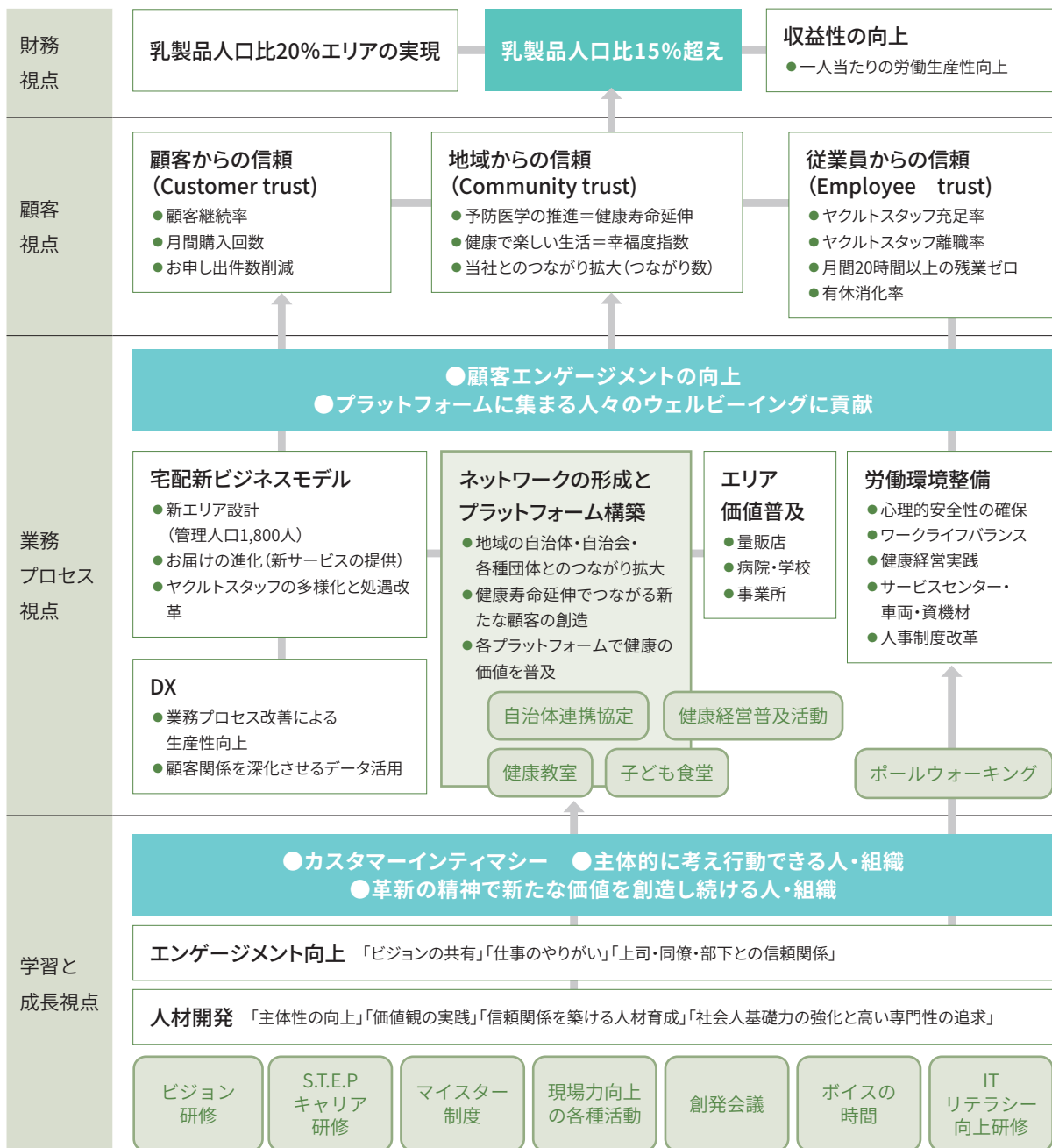
群馬ヤクルトは、ヤクルトグループ創業100周年・群馬ヤクルト創業80周年を迎える2035年をビジョン実現の年と定めた。目指す姿は「共助社会の担い手になる」乳製品人口比20%を目指す。ビジョン実現のために、2021年度を新創業元年と位置付け、2035年までを5つのステージに分け、3年ごとの中期経営計画を策定した。

■ 全社戦略マップ

ありたい姿であるビジョン実現に向けた、中期経営計画 第2ステージ(2024 - 2026)の変革課題と全社戦略マップを作成しました。

■ 第2ステージ(2026年まで)変革課題および全社戦略マップ

- 地域とのつながりを広げ、コミュニティを創出し、社会課題解決型の新たなプラットフォームを築く
- 顧客とのつながりを深化させるDXとヘルスケアパートナーによる宅配サービスの変革



ヤクルトグループ 優秀販売会社表彰

7期連続(20年) 最優秀販売会社賞 受賞

7期連続(20年間) 最優秀販売会社賞を受賞いたしました。これからも、一人でも多くの方へ「健康と美」をお届けすることを使命に、従事者全員で「ビジョン2035～共助社会の担い手になる～」の達成を目指してまいります。



最優秀販売会社賞



部門優秀賞 化粧品売上高指数部門

● ヤクルトグループ

「総合最優秀販売会社賞」受賞(7期連続)

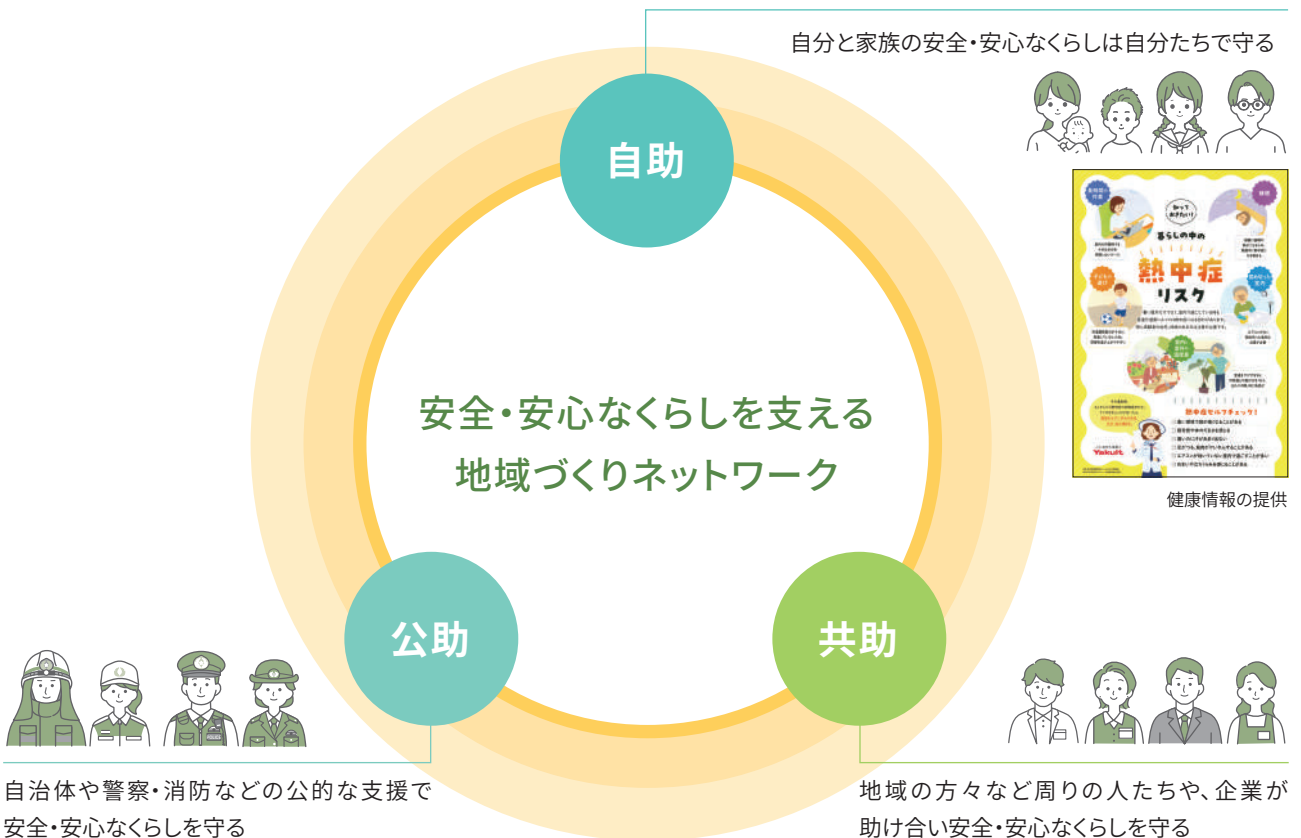
● ヤクルトグループ

「部門優秀賞(化粧品売上高指数部門)」受賞

「共助社会の担い手」として

共助社会で私たちにできること

私たちは「共助社会の担い手」として、健康と美のお届けを通して地域の方々と助け合いながら、安全・安心に暮らせる地域づくりを行っています。「自助」に対しては、ヤクルトのお届けと共に健康情報の提供を行い、自分たちと家族の安全・安心な暮らしを守るための啓発を行っています。また「公助」と「共助」をつなぐ活動に力を入れ、自治体や警察・消防、各種団体と連携し、安全・安心な暮らしを支える地域づくりネットワークの円滑な運用を目指しています。



火災予防運動広報活動に対する委嘱状



ヤクルトスタッフのショルダーに貼付



地域の方々など周りの人たちや、企業が助け合い安全・安心な暮らしを守る

公助と共助をつなぐ

地域包括連携協定を締結して、協働による地域づくりを推進し、あらゆる分野で安全・安心な暮らしに向けた相互連携を行います。

2025年度までに1県11市8町7村3団体と締結



地域連携の推進

自治体との連携

自治体と一緒に、地域住民の健康増進や地域づくりに関する活動を行っています。具体的な活動は、「健康増進及び食育」「高齢者・障がい者及び子どもの支援」「スポーツ及び文化振興」「防災・災害対策及び防犯」「市町村政のPR及び観光振興」などです。今年度は、伊勢崎市と包括連携協定を締結しました。



2025年現在 協定締結自治体

1県11市8町7村

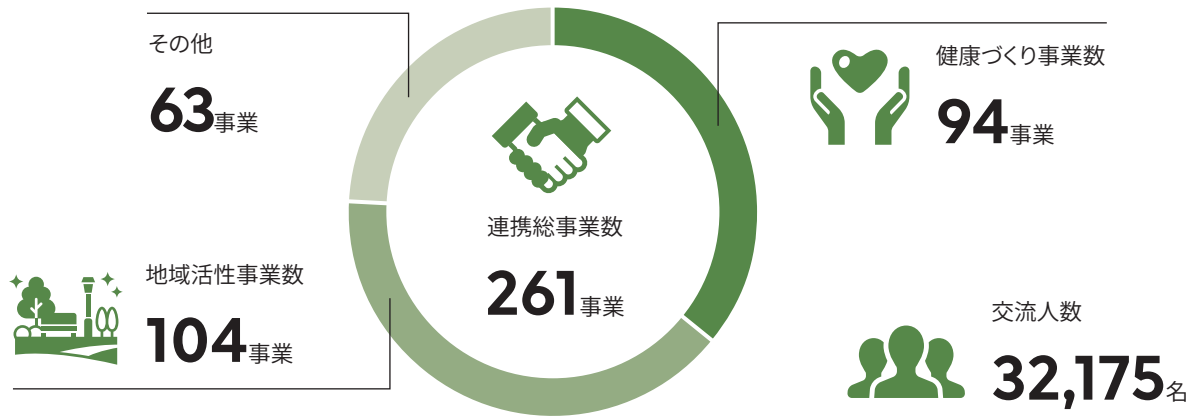
計27自治体



- 「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」
- 「包括連携に関する協定」

※みどり市と桐生市と太田市の一部は両毛ヤクルト販売(株)様管内を、伊勢崎市は埼玉北部ヤクルト販売(株)様管内を含む

協定締結自治体における事業



頑張る女性の健康セミナー(高崎市)



脳活塾(渋川市)



健康まつり(玉村町)

令和7年度 しぶかわジェンダー平等推進表彰を受賞

連携協力に関する協定を締結している渋川市が今年度より実施した、「ジェンダー平等の推進と、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に向けた先進的な取り組みを顕彰する制度」において、各賞を受賞しました。

受賞内容

しぶかわジェンダー平等推進表彰
特別賞 しぶかわジェンダーヘルス推進功労賞

受賞理由

女性の健康課題に組織として正面から取り組み、職場全体でジェンダー平等の意識を高めている姿勢は、「働きやすさと健康の両立」を目指すこれからの企業像として高く評価されました。



健康経営の推進

2020年度から「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に認定されています。健康経営優良法人とは、経済産業省の日本健康会議から、「地域の健康課題に即した取り組みや健康増進の取り組みをもとに、特に優れた健康経営を実践している」として認められた企業です。

健康経営優良法人 プライム500とは？

健康経営優良法人(中小規模法人部門)の中から「健康経営優良法人の中でも優れた法人」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」として優良な上位500法人のことです。群馬ヤクルトは2021年度から、6年連続で認定されています。



育児・介護に関する良質支援の充実

- 実際の利用者(育休・介護休暇取得者)による体験共有・意見交換の場を提供
- 社内規定(育児休業・介護休業制度)の理解度向上および改善点の抽出



健康診断受診率の向上と健康意識の醸成

- 本店に加え、北毛地区(渋川サービスセンター)で健康診断実施体制を構築
- 社内掲示板や社内ツールを活用した健康情報の定期発信
- 担当薬剤師による生活習慣病予防・セルフケアに関する情報提供



管理栄養士による従事者向け健康セミナーを実施

- 管理栄養士による「健康診断はなにを見る？」をテーマに、高血圧・高血糖・脂質異常の改善や予防法についての講話



健康経営優良法人認定企業様への提案活動事例

【初認定】健康経営優良法人(大規模法人部門)のご紹介

佐田建設株式会社 様



佐田建設株式会社
経営本部総務部
長谷川美紀 様

当社は「人を大切にする企業」として、社員一人ひとりの心身の健康を企業活動の基盤と捉え、健康経営を推進しています。メンタルヘルス対策、禁煙施策、ワークライフバランスの推進など、幅広い健康施策を戦略的に展開し、組織活性化や生産性向上、企業価値向上を目指しています。これらを確実に進めるため、健康経営優良法人の認定取得を目標に掲げ、認定企業からの情報収集や調査票の作成に取り組んできました。しかし独自作成には限界がありました。そうした中、群馬ヤクルト販売様とのお縁をいただき、伴走支援のもと健康教室の開催や社内アンケート、設問の読解と見える化を進めることができました。健康経営優良法人の認定取得への取り組みは、社内の健康経営推進に大きく貢献しています。今後も健康経営方針に基づき、持続的に取り組みを推進してまいります。



【初認定】健康経営優良法人(中小規模法人部門)の取り組み

株式会社桐電 様



株式会社桐電
篠原育恵 様

当社では、群馬ヤクルト様とのお縁をいただき、多くのご支援を受けながら健康経営優良法人認定取得に向けた取り組みを進めてまいりました。また、私自身も健康経営アドバイザーを取得し社内体制の強化にも努めております。血管年齢測定の実施や、従業員の健康維持を目的に毎日ヤクルトを取り入れるなど、継続的な健康増進施策を展開しております。今後も心身ともに健康で安心して働ける環境づくりを推進し、企業の持続的な成長につなげてまいります。

健康教室の開催

地方自治体や社会福祉協議会と連携し、地域の健康づくりとして無料の健康教室を実施しています。サロンや公民館等での地域活動や教育機関、企業、専門機関などさまざまな対象の方に向けて健康をお届けしています。

実績



実施回数

548回



参加人数

14,709名

実績内訳

	地域活動	教育機関	企業・教職員	専門機関
実施回数	431 回	50 回	61 回	6 回
参加人数	8,524 名	3,656 名	2,388 名	141 名

地域活動

高齢者の方でも「楽しく!」「健康増進に繋がる!」ように、クイズ・脳トレ・簡単な腸体操などを入れて実施しています。

いきいきサロン・老人会・公民館・保健センター等



いきいきサロン参加者様の声



話も分かりやすく腸の働きや食事の大切さが学べました。
ヤクルトがどのような働きをしてどんな風に健康に影響をもたらすのか、詳しく知ることができ良かったです。参加して改めてヤクルトを頼もうと思いました。今回の健康教室がよい機会になって良かったです。またお届けの担当者に会えるのも楽しみにしています。

いきいきサロン代表者(民生委員)様より

ヤクルトの健康教室は大人気で、参加者が多く集まるのでありがたい。
高齢化もありサロンに足を運ぶのが億劫になっている方もいるが、ヤクルトの健康教室はみんな楽しみにしていて、あまりサロンに来ない方も積極的に参加してくれる。サロンの活性化にもつながっているのだから健康教室をお願いしたい。



専門機関

医療従事者や介護・福祉に携わる方々へ向け、セミナーをご案内しています。乳酸菌の効果や腸内細菌の役割などを知っていただき、自身の健康はもちろん患者様や利用者の方々への情報としても役立てて頂いています。



群馬県看護協会藤岡地区支部・看護連盟藤岡地区支部

群馬県看護協会藤岡地区支部・看護連盟藤岡地区支部の合同研修で睡眠をテーマに健康教室を実施していただきました。看護職の方は仕事柄夜勤があるため、質の良い睡眠をとることはとても重要で、興味深いお話を聞くことができました。腸内環境を整えることが良いことは知ってはいましたが、良質な睡眠につながるといった点は意識したことがなく勉強になりました。メンバーからはDVDがとてもわかりやすく、自身が一般の方に健康教室を開催するときの参考になるといった声をいただきました。この度はどうもありがとうございました。



群馬県看護協会
藤岡地区支部
久保嘉子 様

会社データ

企業

県内企業の皆さんへは、健康増進のために従事者向けの健康教室をご案内しています。今回は、企業様の企画の中でご活用いただいた事例です。



新聞読者を中心に健康セミナーを開催

JOMOスクエア(上毛新聞社)



株式会社上毛新聞社
営業局開発部次長
岩井拓也 様

当社では、脳の健康維持と健康寿命の延伸を目的に、紙面企画「脳活新聞」の一環として定期的に「脳活サロン」を開催しています。新聞読者を中心に毎回大きな反響をいただいております。早期に定員に達する人気企画です。これまで主に医療関係者を講師に迎えてきましたが、民間企業との連携も図りたいと考え、第8回は群馬ヤクルト販売様にご協力いただきました。当日は管理栄養士の桑原優奈様が「腸内から健康づくり」をテーマに講演。腸の模型や体操を交え、約40人の参加者が熱心に耳を傾けました。今後も地域と連携し、継続開催してまいります。

ビジネス2035

教育機関

おなかの仕組みや規則正しい生活の重要性などを伝える教育支援プログラムを実施しています。腸模型やクイズを取り入れながら「健康の大切さ」や「食の大切さ」を楽しく伝えています。



2026年3月5日実施(3年生 おなか元気教室)

前橋市立山王小学校

おなか元気教室は児童・職員に好評で本校では毎年3年生を対象に実施していただいています。内容や資料が充実していて引き付けられる展開のため、児童は始めから終わりまで集中して参加することができました。3年生くらいだとうちの話題でも抵抗なく受け入れられ、自分の生活や健康のことも考えられるので、今回の教室で自身の生活習慣を見直す良いきっかけにもなったのではないかと思います。ありがとうございました。



前橋市立山王小学校
養護教諭
鹿沼千津 様

部門紹介

一般社団法人 群馬県ポールウォーキング協会



学術集会

2025年10月4日(土)～10月5日(日)にGメッセ群馬にて開催された日本転倒予防学会第12回学術集会において、当協会はランチョンセミナーの開催および展示ブースの出展を行いました。ランチョンセミナーでは、ポールウォーキングの実践的効果や転倒予防への活用事例、研究データを交えた成果報告を行い、多くの医療・介護・健康分野の専門職の皆さまにご参加いただきました。展示ブースでは、実際のポール体験や活動紹介、資料配布を通じて情報発信を行い、多方面から高い関心をいただく貴重な機会となりました。



地域とのつながり

前橋市大利根町自治会では、月2回、第2・第4水曜日にポールウォーキング教室を開催しています。毎回多くの地域住民の皆さまにご参加いただき、無理のない運動習慣づくりと健康維持・増進に取り組んでいます。教室では、正しい姿勢や安全な歩き方の指導に加え、ストレッチや筋力強化運動も取り入れ、転倒予防や生活機能の向上を目指しています。参加者同士の交流も活発で、新たな居場所として、地域のつながりづくりにも大きく貢献しています。



大利根町の高齢者は、お元気で積極的な方が多く、新しいことを受け入れるには都合が良い土地柄です。そこにポールウォーキング教室を開催(参加27人)していただき、その講師の皆さん方の素晴らしさやゲーム感覚の楽しさから、生涯学習や居場所づくりの一環としてサークル活動を始めました。8年度も月2回開催する計画ですが、今後の課題は、男性の参加者を増やすことです。このような素晴らしい活動のきっかけをいただいた群馬県ポールウォーキング協会・群馬ヤクルト販売株式会社の皆さま方に大いなる感謝を申し上げます。



前橋市大利根町自治会
会長
岡正雄 様

大学とのつながり

令和7年度 前橋工科大学地域活性化事業

本事業は、前橋工科大学との共同研究として、ポールウォーキングによる身体および心身の変化を科学的に検証し、地域の健康づくりに還元することを目的としています。歩行解析や生体信号測定、各種デジタル技術を活用し、運動効果の可視化と継続支援の仕組みを構築するとともに、学生と高齢者の協働を通じた地域活性化モデルの確立を目指しています。



私たちの研究室では、ポールウォーキングが認知機能・運動機能・精神的健康に及ぼす影響を総合的に検討しました。タブレット版Trail Making Testによる認知機能測定、AI骨格推定を用いた姿勢解析、VRによる視界計測、自律神経活動の測定を実施しました。その結果、姿勢の安定性向上に加え、注意力や処理速度の改善傾向など前向きな変化が示唆されました。



前橋工科大学 生命工学領域
准教授
小田垣雅人 様

前橋工科大学×群馬医療福祉大学 連携取り組み

本事業は、群馬医療福祉大学の協力を得て、参加者の身体機能変化に関する研究にも取り組んでいます。前橋工科大学のAI・データ解析技術を活用して歩行や生体情報を客観的に評価し、群馬医療福祉大学の専門的知見を生かして運動内容の改善につなげています。産学連携により、科学的根拠に基づいた健康づくりを推進しています。



ポールウォーキングは心身ともに良い影響を与えることが示唆されています。また、サークル活動は地域のコミュニティづくりとして重要な役割を担っています。今年度は、多施設共同研究に加え、本学の学生主体で健康講座を実施しました。このような世代間のつながりは、次年度以降も力を入れて取り組んでいきたいと考えています。心の健康なくして、身体の健康はあり得ません。今後も、心身の健康増進に関わる活動を継続していきます。



群馬医療福祉大学
リハビリテーション学部
助教
平石卓朗 様

子ども食堂～ヤクルト GENKI★食堂～

「共助社会の担い手になる」というビジョンのもと、地域社会の課題解決の取り組みとして子ども食堂「GENKI★食堂」を運営するほか、地域団体と連携し、地域活性化を図るためにさまざまな活動を行いました。

子ども食堂「GENKI★食堂」

2025年度は前橋市の平成大橋サービスセンター・キッズルーム、渋川市の渋川サービスセンター・キッズルームにて開催しました。

～GENKI★食堂 IN 平成大橋～ 計12回



行事食を通じた食育や遊びを通じて「子どもの居場所」「子育て世代のコミュニティ」「地域の繋がり」の場として運営しています。また地域の高齢者や学生ボランティア、中核病院の職員ボランティアに参加いただき、地域の繋がり拡大を図っています。

～GENKI★食堂 IN 渋川～ 計12回



子育て世代の繋がり場をつくることで社会課題である親の孤立の解消を目指すを目的に運営しています。お母さん同士の情報交換、リフレッシュの場として、また保育士が子育てサポートもしており多くの親子に喜ばれ利用されています。

こども食堂フェスタまえばし

11月8日前橋市総合福祉会館にて「第3回こども食堂フェスタまえばし」が開催されました。このイベントは当社のGENKI★食堂をはじめ、前橋市内のこども食堂と企業、社会福祉協議会、前橋市が協力して市内のこども食堂の周知を目的に開催されました。当日は約500名の方が来場し、各こども食堂と企業が協力して作った食事やワークショップを楽しみました。



地域活性化活動

社会的課題の一つである「地域の担い手不足」の解消と地域活性化を図ることを目的として、地域の自治会と連携しながら共助活動を実施しました。自治会の皆さまと協力し、地域コミュニティの維持・活性化につながる活動を進めました。これからも、継続的に地域との協働を深め、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。



スポーツ社員の紹介

当社の社員として働きながら、サッカー・トライアスロンで活躍する5名の社員を紹介します！

PALAISTRA Ladies




会社データ

2025年

部門紹介

SUNNY FISH



人材育成

■ マイスター制度の運用

群馬ヤクルト独自の資格制度であり、新たなキャリアアップの道筋を築くマルチキャリアパス制度です。自身が意義を感じられるような職務に自分らしさを発揮し、専門性を磨くことで、周りに良い影響を与え、周りにも認められる人材を見出します。60歳以降もマイスターとして従事し、70歳まで管理職以外にもやりがいを見出せ、その職務で活躍できる。群馬ヤクルト独自の能力を次世代へ継承するための制度です。

マイスター制度対象者

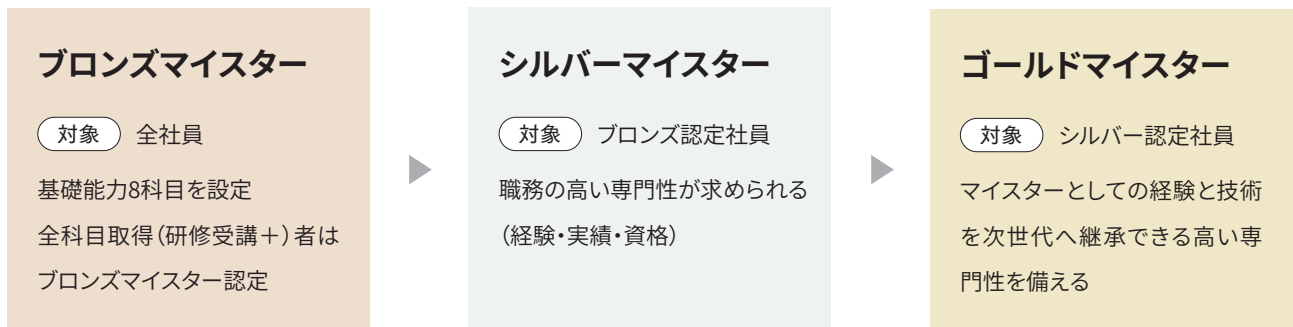
全社員（雇用者）

マイスター制度の種類

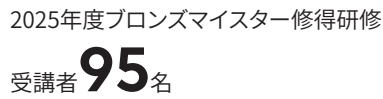
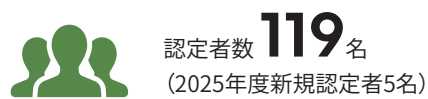
「ブロンズマイスター」「シルバーマイスター」「ゴールドマイスター」の3種類があります。

マイスター制度設計

まず初めに目指していただくのがブロンズマイスターです。次に目指すのがシルバーマイスターで、ブロンズ認定を受けた社員が対象となり、職務の高い専門性が求められます。そして最終的に目指すのがゴールドマイスターです。マイスターとしての経験と技術を次世代へ継承できる、高い専門性を備えた方が認定を受けます。



■ ブロンズマイスター認定者



■ シルバーマイスター認定数



シルバーマイスターの共通スキル

伝達力 傾聴力・読解力・記述力・提案力

課題解決力 課題発見・課題分析・論的思考・計画実行

共感力 尊重・理解受容・想像力・共感的態度

創造力 発想する力・推論する力・感動する力・探求意欲

自己実現力 学び続ける姿勢・目標設定・自己管理・達成志向

職務の専門性に加えて、この5カテゴリー各4スキルに対し、本人・上司・同僚・部下による360度サーベイを実施。自己認識と他者認識のギャップを確認し成長を促します。

ボイスの時間

部下の成長支援を目的とした、部下のための時間です。一人の部下に対して、月に最低1回以上、30分間で行います。対等な人間同士であるという姿勢で臨み、上司と部下がお互いに何でも話せる関係の構築を目指すものです。

部下の声



自分の言いたいことや伝えたいことをしっかり聞き入れてくれて不満や不安が軽減されました。上司側の考えも教えてもらえるので、よい時間だと思います。



時間を作っていただいて、踏み込んだ話ができるので大変満足しています。

Voice会議

毎月1回、全部門の管理職が参加して、お客さまや現場の従事者から寄せられた生の声 (Voice) を共有し、その声をもとに、アイデア交換や課題の抽出を行っています。その場で回答が難しいものは、各部門で持ち帰り、次回の会議で進捗を報告しています。

寄せられたVoice

宅配サービス部 お客さまの声



近年、各地域で地震や水害が多いので、防災用品を年2回くらい紹介してもらえると助かります。

ヤクルトスタッフの声



ヤクルト工場見学ツアーは子ども向けもあれば、親子で楽しめると思いました。

チャレンジ賞

夢や志を実現することが可能であると信じられるような、柔軟で活力ある組織を築くために、“輝いている”社員を四半期ごとの社員総会で表彰する制度です。挑戦した人、会社・地域に貢献した人、業務提案をした人、たくさん努力した人、その他顕著な行動等がノミネートされ、審査のうえ受賞が決定します。

❖ 音楽を通じて一人でも多くの方に笑顔を

坂上園実 (宅配サービス部 境サービスセンター)

坂上さんの趣味は音楽で、12年前から県内でバンド活動を続けています。担当はボーカルでライブやイベントに参加するだけでなく、7年前から施設への慰問ボランティアも行うようになり、音楽を通じて笑顔を届けています。ヤクルトでは「健康と美をお届け」し、バンドでは「笑顔をお届け」。仕事とプライベートを両立しながら「乳酸菌 シロタ株で腸活!音楽で脳活!」を合言葉に活動しています。



一 全社横断プロジェクト チャレンジ! エリア20プロジェクト

活動テーマ

チャレンジ! エリア20とは、全社でエリア人口比20%を目指すことを意味します。平成大橋サービスセンターエリアを特区として変革課題へ挑戦します。



エリア20決起大会

プロジェクトの目的

宅配ビジネスモデル再構築

1. 共助社会への貢献
2. ヤクルトの価値(商品・人・会社)の普及
3. エリア人口比20%への挑戦!

→ 全社横断によるプロジェクトチーム編成と部門連携

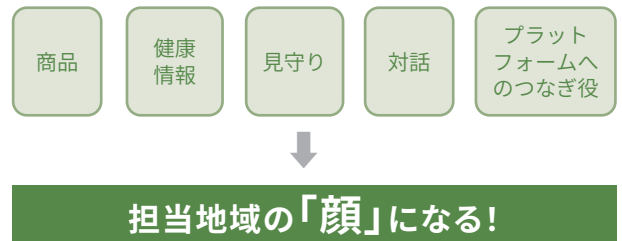
- 地域とより一層の関係強化によって、ヤクルト商品をお届けしている「お客さま」だけでなく、ヤクルトにかかわる全ての人への貢献
- 全社を挙げ活動することで、平成大橋エリア内、宅配人口比: 12%、直販人口比: 8%を目指します。

活動目標

目指す姿

地域に根差す「心と体」のヘルスケアパートナー

「お届け」を通してお客さま(そのご家族、地域の人々)が求める価値に対応し、群馬ヤクルトが提供できる全ての価値を提供できるヤクルトスタッフを目指します。



地域と人のつながりを築く活動

未来価値創造部を中心に「ヤクルト健康教室」や「GENKI★食堂」、「ポールウォーキング」など展開し、地域から非常に高い評価をいただいています。この活動を集中的に行うことで、ヤクルト商品をお届けしている「お客さま」だけでなく、ヤクルトに関わる全ての人への貢献を目指し、「地域に必要とされる存在」を確立していきます。



ヤクルト健康教室



GENKI★食堂チラシ



ポールウォーキング体験



エリア内地域見守り活動

「ヤクルトスタッフ」の価値を高める活動の展開

■ グループ討議・センター内研修

心を込めた「お届け」を通じて、さらに地域から必要とされる存在となるために、私たちに何ができるのかをスタッフ自らが考え、行動へとつなげられるよう、グループ討議や研修を繰り返し実施しています。こうした「訓練」を重ねることで、関わるすべての「人」の健康(ウェルビーイング)を願うヤクルトスタッフの育成を推進しています。



研修



グループ討議



■ エリア内のすべての人とのつながりを

エリア内のすべての人とのつながりを目標に、地域限定の活動を実施しています。

■ ヤクルト富士裾野工場見学ツアー



🗨️ 担当者の声

お客さまには「工場でしか飲めない新鮮なYakult1000を体感して欲しい!」とお伝えし、ご参加いただきました。工場を見学したことで乳酸菌 シロタ株の良さを再確認され「すごさに感動した」とのお言葉をいただきました。「長時間の移動も社員さんのおかげで楽しいひとときを過ごせて良かった」と伺い、参加をおすすめして良かったと、嬉しい気持ちでいっぱいでした。

平成大橋ヤクルトスタッフ 藤枝美枝

平成大橋エリア限定とはいえ、溢れるばかりの申し込み数に、スタッフさんに感謝してもしきれません。日頃の信頼、「あたたかいつながり」があるからこそその成果です。愛飲者の方には改めて毎日飲用の大切さを伝え、新規のお客さまにはヤクルトの魅力伝える時間。最後には参加者と握手で終わるこのツアーは、かけがえのない素敵な時間でした。

平成大橋センターマネージャー 三樹里帆



■ 部門を超えたチームによるお客さまづくり

ヤクルト健康教室

実施回数	22回
参加人数	461人
お客さま満足度	88%

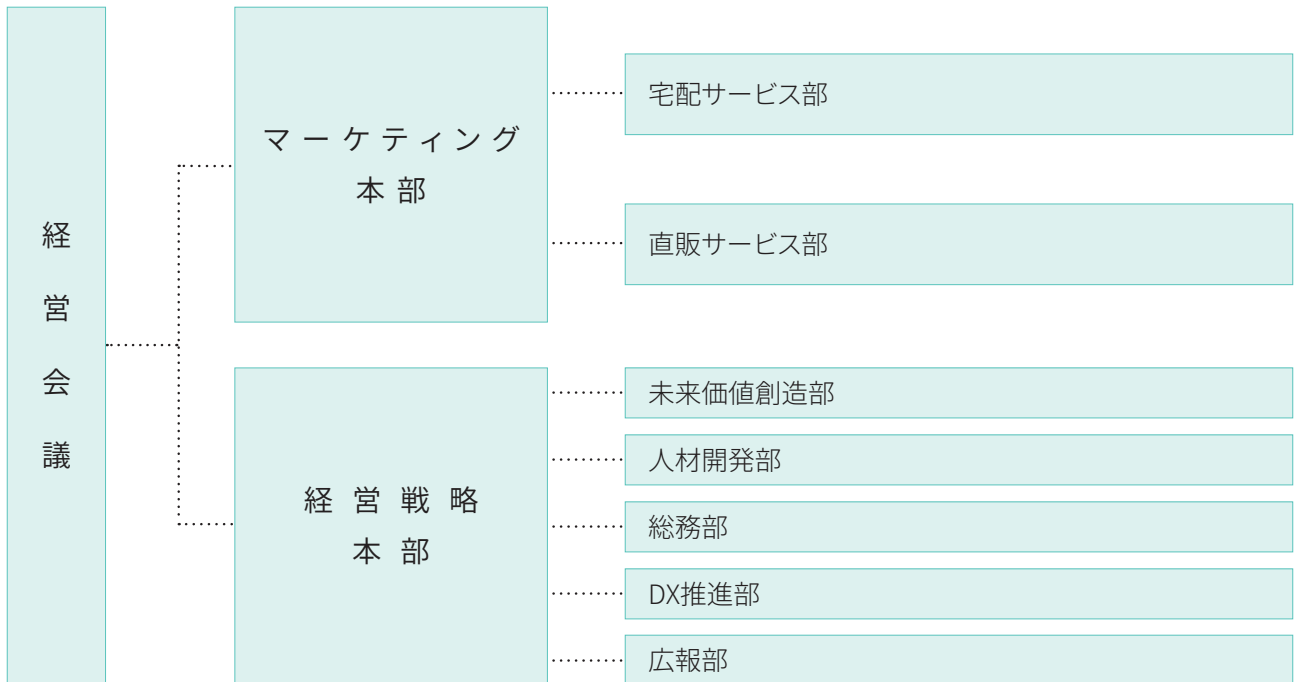
参加されたお客さま一人ひとりとの細やかなコミュニケーションを取ることで、ヤクルトの価値が伝わり、結果として、お客さまの満足度を高めることができました。

職域活動

ヤクルトスタッフ訪問	15件
職場の応援デー	9件
参加者	350人

未来価値創造部内に職域攻略チームを編成し、平成大橋サービスセンター管内の未訪問職域への訪問活動を展開し、健康経営提案を実施、のべ350人の方とのつながりが築けました。

2025年度 組織図



— マーケティング本部

宅配サービス部

宅配サービス部は日々のヤクルト商品のお届けを通じて、お客さまの健康を守る部門です。

新たな価値提供を目指し、サービスの品質向上に取り組みます。

地域密着型のヤクルトスタッフのネットワークを活かし、お客さまとの信頼関係を構築し、健康と豊かな生活を応援します。



直販サービス部

直販サービス部は群馬県内の主要なスーパーマーケット、自動販売機、給食を通じて、地域のあらゆる生活シーンの中で身近な存在として、ヤクルト商品と健康・笑顔・元気をお届けしています。



未来価値創造部

未来価値創造部は、健康経営の推進や新たな価値創造を通じて、企業と社会の持続的成長を支援する部門です。健康づくりや働き方改革を促進し、企業の生産性向上やブランド価値向上に貢献。市場調査や新規事業開発にも取り組み、社会的課題の解決を目指した革新的なソリューションを提供します。



人材開発部

人材開発部は、企業の成長を支える「人」の育成と働きやすい環境づくりを推進する部門です。採用活動や研修の企画・運営を通じて、社員一人ひとりの能力向上をサポートするとともに、公正で快適な職場環境を整えます。群馬ヤクルトならではの企業文化を大切にしながら、働く人々の成長を支援します。



総務部

総務部は、企業の円滑な運営を支える管理部門として、組織全体のサポートを担います。社内の環境整備、財務・会計管理、福利厚生の充実を通じて、社員が安心して働ける職場づくりを推進します。



DX推進部

DX推進部は、全社の業務の仕組み化・IT化・ITリテラシーの向上による生産性の向上や、従事者の業務が円滑になるようにバックオフィスとしての役割を担っています。



広報部

広報部は「ブランド価値向上」を目的に、社内外の情報発信を担う部門です。企活動や商品・サービスの魅力を伝えるだけでなく、地域社会との連携を強化し、「群馬県民の健康寿命延伸」への貢献を通して、企業の社会的価値を高め、企業の持続的成長を支えます。



会社概要

社名	群馬ヤクルト販売株式会社	取引銀行	群馬銀行・三井住友銀行など
所在地	〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-7-1	従事者数	882名(2025年2月末時点) 社員:253名 乳製品スタッフ:589名 化粧品スタッフ:40名
電話番号	027-251-8960	事業所	前橋本店 出張所2か所 サービスセンター33か所 エステティックサロン20か所 キッズルーム16か所
創業	1955年6月	事業内容	乳製品乳酸菌飲料・清涼飲料・食品・化粧品の販売
設立	1971年5月		
代表者	代表取締役会長 本田博己 代表取締役社長 塩谷輝行		
資本金	41,640千円		

サービスセンター一覧

前橋東サービスセンター	前橋市天川大島町3-1-43	☎027-221-9575	藤岡サービスセンター	藤岡市中栗須字光明203-1	☎0274-50-1213
駒形サービスセンター	前橋市駒形町379-1	☎027-266-9087	藤岡南サービスセンター	藤岡市神田1360-1	☎0274-25-8511
前橋中央サービスセンター	前橋市平和町1-15-14	☎027-230-8755	渋川サービスセンター	渋川市渋川1970-17	☎0279-25-0172
間屋町サービスセンター	前橋の間屋町2-3-5 前橋間屋町ビル1階	☎027-251-8613	渋川北サービスセンター	渋川市赤城町敷島430-1	☎0279-56-3566
前橋北サービスセンター	前橋市富士見町原之郷309-1	☎027-225-9208	安中サービスセンター	安中市安中3-465-1	☎027-382-6908
富士見サービスセンター	前橋市富士見町時沢1141-1	☎027-212-9253	松井田サービスセンター	安中市松井田町新堀1358	☎027-393-3355
平成大橋サービスセンター	前橋市下石倉町27-14	☎027-253-7724	太田宝泉サービスセンター	太田市由良町1617-1	☎0276-55-6363
大胡サービスセンター	前橋市樋越町810	☎027-283-8686	境サービスセンター	伊勢崎市境西今井1-1	☎0270-76-4391
高崎北サービスセンター	高崎市棟高町82-1	☎027-372-2915	沼田サービスセンター	沼田市桜町1974-46	☎0278-23-1331
高崎間屋町駅前サービスセンター	高崎市貝沢町747-2	☎027-363-0500	笠懸サービスセンター	みどり市笠懸町久宮234-7	☎0277-77-2030
上並榎サービスセンター	高崎市上並榎町298	☎027-364-6913	富岡サービスセンター	富岡市七日市1108-1	☎0274-64-2161
高崎西サービスセンター	高崎市上豊岡町551-6	☎027-393-6472	みなかみサービスセンター	利根郡みなかみ町下牧625-1	☎0278-25-3591
高崎東サービスセンター	高崎市中居町4-2-1	☎027-350-1702	吉岡サービスセンター	北群馬郡吉岡町北下1213-1	☎0279-54-1423
高崎中央サービスセンター	高崎市あら町6-14 高崎シティーあら町ビル1F	☎027-326-0241	中之条サービスセンター	吾妻郡中之条町大字伊勢町川端20-1	☎0279-75-3937
高崎南サービスセンター	高崎市片岡町1-13-12	☎027-323-3787	長野原サービスセンター	吾妻郡長野原町大津140-1	☎0279-82-5588
吉井サービスセンター	高崎市吉井町下長根338-1	☎027-387-8718	下仁田サービスセンター	甘楽郡下仁田町中小坂64-1	☎0274-70-3202
			玉村サービスセンター	佐波郡玉村町福島88-3	☎0270-65-8975